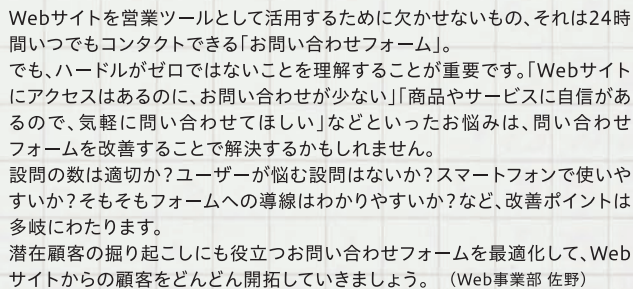


1987年 国際標準化機構（ISO）
によって国際規格に指定された
「非常口」マーク。

左から「時計仕掛けのオレンジ」「ジョーズ」「シャイニング」。



浸透していくように断捨離ブームが全国に広がって久しい。火付け役になったと言われる本があるけれども、その本がなくても時代の流れで断捨離のムードがあったし、それは必然だったように感じる。世間的（マクロ視点）には断捨離ブームだけどそれは世界の動向にも通じている。つい先日、延期が発表された世界経済フォーラム（ダボス会議）の今年のメインテーマが「グレートリセット」だったことが話題になった。コロナ禍を経て、社会・経済のあり方、価値観をリセットする時が来ている。未来予測では2030年までに脱物質主義の社会（シェアする社会）がやってくるそうだ。現在だって、私たちはサブスクで音楽を聴き、映画を見て、クラウド上にデータを保存したりしている。近未来にやってくる脱物質社会の先取りのため、遅ればせながら自宅の断捨離をしようとおもう。